

CREATE HOPE in the WORLD  
世界に希望を生み出そう

2023～24 年度年度

国際ロータリー会長 Gordon・R・McInally



## 東京麹町ロータリークラブ

### 本日の例会プログラム

第 20 回例会 2024.1.29 (#2402) 舞の間  
例会ホスト・紹介係 吉沢会員  
受付係 荘村会員 保科会員  
司会者 鄭会員 ソングリーダー 近藤会員

### オープン例会

卓話 アートは国境を越えて ②

「生誕 100 年の絵画をめぐるって

～藤田嗣治とエコール・ド・パリ～

美術評論家 村上 哲氏

紹介者 齊藤会員

### 前回の報告

第 19 回例会 2024.1.22 (#2401) シリウス  
例会ホスト・紹介係 山田会員  
受付係 秋山会員 末竹会員  
司会者 山田会員 ソングリーダー 福田会員

卓話 「2024 年運勢と強運手相」

東京紀尾井町 RC 林 ひろみ氏

紹介者 齊藤会員

### 会長報告

- 1) 本日、紀尾井町RCの林様に、今年の運勢などについて、お伺いいたします。
- 2) 荒川会員に、米山奨学会より感謝状が届きました。16回目です。
- 3) 能登地震災害義援金について、今月の例会で募金をお願いいたします。事務局のデスクに募金箱を置いてありますので、宜しくお願いいたします。
- 4) 今週末は、ポリオ根絶チャリティー演芸会を亀戸文化センター、カメラホールで開催致します。目標の販売数には至っておりません。是非ご協力ください。
- 5) 5月27日は、当初、国際大会参加を見こんで休会としましたが、諸般の事情で参加者が居ません。その為、5月27日は通常例会を開催いたしますので、スケジュールにお入れください。

### 幹事報告

- 1) 能登地震最外義援金については、地区よりおひとり5,000円の目標と有りますが、小額でも構いませんので、是非ご協力ください。
- 2) 今週末のチャリティー演芸会には、赤い「END POLIO NOW」のTシャツのあるかたは着用してください。
- 3) 今夕は、各委員長対象のクラブ協議会が御座います。該当のかたは18:30に維新號へお集まりください。
- 4) 来週はオープン例会です。入会をお勧めしたいかたをお連れ下さい。

### 例会記録

会員総数 56名 出席会員数 27名  
ゲスト 1名 ビジター 0名  
その他 0名 海外ビジター 0名  
事務局 2名

### ニコニコボックス

垣見会員:お誕生日  
齊藤会員:今夕のクラブ協議会を宜しくお願いします。

### 次回予告

第21回例会 2024.2.5 (#2403)

会場:シリウス  
例会ホスト・紹介係 守屋会員  
受付係 浅野会員 加賀会員  
司会者 植芝会員  
ソングリーダー 住吉会員

2月5日、26日の例会は、ガーデンタワー5F  
「シリウス」での開催です。12,19日は休会です。

### 卓話「私の職業奉仕」

金子修会員・須藤仁会員・若林英博会員  
紹介者 保科会員

アートは国境を越えて ①

「東西の美の邂逅をめぐって～浮世絵とフランス絵画～」

美術評論家 村上 哲氏(10/23 卓話 齊藤会員紹介)



19 世紀半ば、東西の交易の中で浮世絵などの日本文化がヨーロッパのさまざまな画家に影響を与えた動向をジャポニズムといいます。印象派の画家であるモネの「積みわら」は、葛飾北斎の「富嶽三十六景」の影響を受けて、大胆なコンポジションと鮮やかな色彩で描かれています。セザンヌやゴッホも浮世絵の影響を受けたことで有名です。

ヨーロッパで浮世絵が知られるようになったのは、1856 年に銅版画家のブラックモンが刷り師のドラートルの仕事場で「北斎漫画」を見つけ、仲間の芸術家に紹介したのがきっかけでした。日本が米英と和親条約を結んで開国したのは 1854 年、日仏が修好通商条約を締結したのは 1858 年ですから、浮世絵はフランスとの正式な交易が始まる前からフランスに流れ込んでいたのです。ル・アーヴルという港町では、浮世絵が中国の品とともに陸揚げされ、セーヌ川を渡ってフランスに広まっていきました。

モネは 5 歳から 17 歳までル・アーヴルで暮らし、1856 年に浮世絵を初めて見て感銘を受けたといいます。その頃、師匠であるブーダンと出会い、「アトリエではなく外に出て現場で描きなさい」という指導を受け、美しい風景画を描くようになります。重要だったのは、チューブ入り絵の具が 1841 年に発明されたことです。それまでの絵の具は粉を油で混ぜるため、アトリエ内で作らなければなりませんでしたが、チューブ入りの登場により、屋外で制作できるようになったのです。ルノワールは「チューブ絵の具がなければ印象主義は存在しなかつたらう」と言っています。印象主義は外の光と色をそのまま描くので、チューブ絵の具が重要でした。

それから、当時は色彩論が発達しました。織物の工場長で色彩学者のシュヴルールは、織物の配色でお互いを打ち消さない色を研究し、補色(反対の色相の色)の考え方を提唱しました。この理論は当時の画家にも影響を与え、例えば黄色の光を描くときにはお互いの色が引き立つように紫の影を描くようになりました。

浮世絵に影響を受けた一人であるゴッホは、浮世絵の模写をする中で、色彩を変えることもありました。歌川広重の赤と緑の補色を、色彩論を活用して黄色と青に変え、自分なりの表現にしています。

またゴッホは、「アルルの寝室」にも浮世絵の影響が見られます。それは遠近法の使い方です。15 世紀イタリアで生まれた遠近法は、1 点に全てのモチーフの線を集めて描かれます。この考えは 16 世紀半ばに日本に既に入ってきたため、浮世絵には遠近法が使われていました。しかし北斎は、画面を三つに割って複数の点を使い、自由な遠近法で描きました。ですから、ヨーロッパで生まれた遠近法が日本で価値観を変えられ、浮世絵の形で再びヨーロッパに帰ってきたのです。自分たちの価値観をこれだけ変えた芸術家が極東にいるということに、ヨーロッパの画家は驚かされました。

北斎といえば青色絵の具のペロ藍が有名ですが、これはドイツで二つの成分が偶然混ざってできたものです。それが中国を経由して日本に入り、藍刷りが生まれました。これは天保の改革でぜいたくが禁止され、錦絵でも色をあまり使ってはいけないお触れが出たために誕生したのです。このペロ藍がヨーロッパでは非常に受け、自然の水や空を表現する立役者となり、ヒロシゲブルーやホクサイブルーと呼ばれるようになりました。非常に面白い偶然の東西のやりとりといえるでしょう。

モネは浮世絵の影響を受け、若い頃に描いた絵の部分をクローズアップし、北斎との関係の中で新しい視覚を見いだしています。セザンヌも「富嶽三十六景」の影響を受けて、それまでの並木道の描き方とは異なり、手前に並木道を描き、遠くにサント・ヴィクトワール山を置く構図でよく描きました。モンドリアンはセザンヌの影響を受けて、モダンアートを切り開いていきました。そう考えるとジャポニズムは、自分の中にある視覚を確認した上で、東西文化の個性を合体させたことによる産物だったといえるでしょう。

今回は、芸術家が国境を越えて交流したエコール・ド・パリの動向を中心に、日本とフランスの関係をたどってみたいと思います。また 1 月にお会いできるのを楽しみにしています。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968 年 6 月 17 日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	齊藤 栄太郎	FAX:03-3263-9122
幹事	藤田 進太郎	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	山本 顕三	URL: www.koujimachi-rc.jp